

北名古屋市市民協働推進事業補助金採択事業自己評価シート

事業名 睡眠衛生教育「おねむりカフェ」 団体名 ハッピースリープ☆北名古屋市すこやかにし隊

項 目	着目点	自己評価	自己評価コメント
公益性 公共性	・事業の紹介を積極的に行い、市民に開かれた事業でしたか	◎	広報北名古屋に加えて健康ドームを始めとする公共施設、主要名所にチラシを設置、周知活動を図りました。2 年目は SNS、チラシの設置場所を増やし、一層の広報を図ります。
	・事業を実施することにより、不特定多数の市民の利益増進につながりましたか	◎	セルフケアを実施したことで、持続性の高いワークで睡眠の利益増進に貢献できたと考えます。
	・事業を通じて市民の理解や参加、協力が得られましたか	○	リピーター参加の方もいらっしゃり、理解が図れたと考える。
実現性 計画性	・当初の事業計画、予算計画は適切でしたか	○	ほぼ予算内で収められた。
	・事業を確実に実施するために適切な体制でしたか	◎	参加者に目配りできるよう、参加定員 20 名に対してスタッフを 4 名体制で実施。
先駆性 協働性	・新たな成果や仕組みを生み出すなどの波及効果がありましたか	◎	お坊さんとのコラボでイベントの幅を広げ参加者の関心を高めた。
	・他団体とうまく協働し、事業を進めることができましたか	◎	日本快眠協会からの講師協力によりスムーズな事業運営が図られた。
	・行政や団体が単独で行うより、効果をあげることができましたか	○	快眠のエキスパート団体「日本快眠協会」の協力もあり、効果が得られたと考える。
継続性 自立性	・事業を継続するための計画、工夫、協力体制ができていますか	◎	日本快眠協会の協力・支援
	・自己資金の確保に努めていますか	○	参加費 500 円を徴収しています。
事業効果 有効性	・費用対効果を考え、経費削減などの工夫をしましたか	◎	2 回目より借用料無料の会場に変更
	・当初の目標、目的どおりの成果が得られましたか	○	開催日が 4 回とも平日だったためか参加者の年齢に片寄りが見られたので、次年度は休日開催も取り入れます。

自己評価：◎よくできた ○まあまあできた △あまりできなかった ×全然できなかった ーわからない 又は該当しない